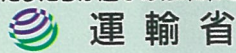


わたしたちが運ぶのは未来です



みなと しみず

発行所

第五港湾建設局

清水港湾工事事務所

御前崎港事務所

下田港事務所

清水港新興津地区の 港湾整備について



清水商工会議所提供

清水市

望月悦子さん撮影

港湾の国際競争力強化と物流コスト削減のための施策として、中枢国際港湾(東京湾・伊勢湾・大阪湾・北部九州)及び中核港湾において高規格のコンテナターミナルの整備が進められています。清水港は全国8箇所の中核港湾の一つとして位置づけられ、コンテナ貨物増大に対処するとともにより効率的なコンテナ取扱いを行うことを目的として、平成7年11月の港湾計画改訂により大水深の15m岸壁と、十分なコンテナの取扱面積を有するコンテナターミナルを新興津地区に整備することが決定されました。

清水港開港一〇〇周年の節目となる平成11年度からいよいよ現地着工となり、国による岸壁2バースの建設、静岡県による埠頭用地・関連用地約39haの整備が始まることとなります。

これまでの清水港は、興津第二埠頭及び袖師第一埠頭の水深12m岸壁にてコンテナを取り扱ってきましたが、もともと重量物を扱う埠頭を転用してコンテナを扱っているためコンテナを扱う背後の土地が狭く荷役の効率を現在以上に上げることが困難であり、増大する

コンテナ貨物に対応できないこと、さらには水深が浅いことから大型化が進むコンテナ船に対応できないこと等の問題が生じるものです。新興津地区のコンテナターミナルが整備されますと、総トン数5万トン級のフルコンテナ船(積載コンテナ数約4千個)の入港が可能となります。また、この岸壁は大規模地震時の緊急物資等の輸送手段確保のため耐震の機能を持った岸壁として整備されます。



新興津地区(完成イメージ図)

新任のご挨拶

所長 小谷 拓



第五港湾建設局及び「広報紙みなどしみず」の読者の皆さん、4月1日付けで清水港湾工事事務所所長を拝命いたしました小谷です。どうぞ、よろしくお願い致します。

第五港湾建設局勤務ははじめて、工事事務所勤務もはじめてであり、右も左もわからないといった感じですが、御前崎港、下田港等、まだ現場も十分に見ていない状態ですが、皆様から教えを頂いて、出来るだけ早く事務所管内の港湾の状況を把握し、清水港はじめ静岡県内の港湾の発展に全力を尽くしたいと思います。清水港は、わが国の中核港湾に位置付けられる特定重要港湾であり、今年開港100年を迎えられます。海上コンテナ輸送の黎明期であった29年前に、すでにコンテナクレーンが供用を開始し、さらに、わが国唯一のインランドデポを有する港であります。歴史と格式があるばかりでなく、先進的な取り組みにより発展してきた港であると認識しています。節目を迎えるにあたり、気持ちを引き締めて港湾の整備にチャレンジして参りたいと思います。皆様のご指導とご支援をよろしくお願い致します。

離任のご挨拶

藤田 郁夫(前所長)



この度、4月1日付けをもって広島県空港港湾局へ出向となりました。清水港湾工事事務所には平成9年

10月1日からの一年半という短い期間ではありましたが、仕事の面でも、生活の面でも非常に恵まれた環境で過ごさせていただきました。清水港は開港百周年を迎える今年、新しいコンテナ埠頭の建設が始まる予定になっていますし、御前崎港では昨年築港50周年という節目を経て新たな気持ちで港湾整備を進めているところです。また、下田港では順調に防波堤の建設が進み、今年は東側部分へ事業が移っていく重要な時期に当たります。このように、私ども第五港湾建設局が工事を行っている3港全てで節目とも言える平成11年度を迎え、その当初に転勤というのをはまことに残念に思います。最後に、清水在勤中頂戴したご厚誼に紙面を借りて感謝いたしますとともに、今後とも清水港湾工事事務所を支援していただきますようお願いいたします。離任のご挨拶とさせていただきます。

平成11年度 港湾整備事業費

清水港湾工事事務所が管轄する3港(清水港、御前崎港、下田港)の平成11年度予算が3月17日夕に成立し、その総額は53億円となりました。

平成11年度は第9次港湾整備七箇年計画の4年目にあたります。

主な事業として清水港においては、新興津地区の岸壁(-15m)関係の事業が認められ防波堤と合わせ事業が本格化することとなります。

御前崎港では、女岩地区の岸壁(-14m)の整備を防波堤(西)と合わせ進めていきます。なお、防波堤(西)については環境協調型として整備する区間のケーソン製作を開始します。

また、下田港においては、沖合防波堤用のハイブリッド構造による消波ブロック内蔵双胴型ケーソンの第4函目(最終函)の据付を行うとともに御台場側である東側防波堤に着手します。

当所所轄の各港の予算概要は下表のとおりです。

(単位：千円)

1. 港湾整備事業

港名	整備目的	地区	施設名	事業費	事業内容
清水港	港内の静穏度、船舶の安全航行 〃 国際海上コンテナターミナルの整備 〃	外港地区 新興津地区 〃 〃	防波堤(改良)	100,000	既設防波堤前面に消波工を施工
			防波堤	300,000	基礎工、本体工等防波堤の築造
			岸壁(-15m)	1,500,000	基礎工、本体工等岸壁の築造
			泊地(-15m)	100,000	〃
	計			2,000,000	
御前崎港	港内の静穏度、船舶の安全航行 多目的外貿ターミナルの整備 船舶の安全航行	女岩地区 〃 〃	防波堤(西)	810,000	基礎工、本体工等防波堤の築造
			岸壁(-14m)	1,140,000	基礎工、本体工等岸壁の築造
			航路泊地(-14m)	20,000	〃
	計			1,970,000	
下田港	天候の急変、暴風雨等の異常気象時 に対する船舶の安全避難	下田地区	防波堤	1,320,000	基礎工、本体工等防波堤の築造
			計		1,320,000
	合計			5,290,000	

(単位：千円)

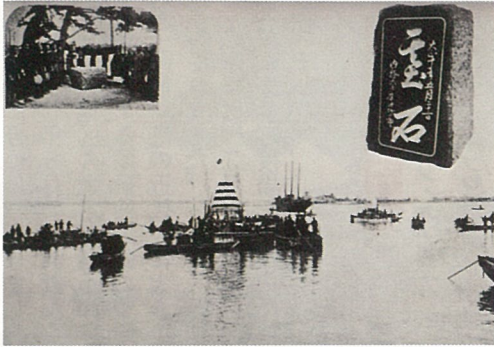
2. 作業船整備費

項目	船種	事業費	備考
修理	監督測量船	12,790	まさき(清水港)、ふじ(御前崎港)、しもだ(下田港)

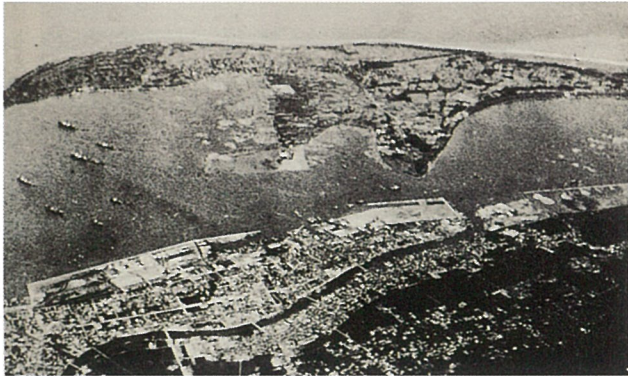
清水港開港一〇〇周年に寄せて

「日の出岸壁起工時の基石」

清水港は明治32年8月4日開港場の指定を受け、国際貿易港として第一歩をしるして以来、今年がちょうど一〇〇周年の年に当たります。大正10年には、本格的な修築工事が決定され、内務省土木局（現在の運輸省港湾局）の直轄工事により、現在の日の出



基石沈下式 ▶
(大正10年5月22日)



◀ 修築工事着工当時の清水港日の出地区
(大正13年頃)



岸壁に着手しました。その起工式では、工事の「基石」が日の出岸壁南端の前面泊地に沈められました。沈んでいる石を見ることはできませんが、フェルケル博物館に拓本がありますから是非一度ご覧になってはいかがでしょうか。

庁舎新築



▲新庁舎完成イメージCG

清水港湾工事事務所の歴史は古く、大正10年の内務省による直轄事業がそもその始まりです。その後、昭和22年に内務省から運輸省に業務が引き継がれ現在に至っていますが、大正10年から数えて今年が78年、昭和22年から数えて52年が経過しましたが、その歴史を築いた先人を影で支えたのが庁舎といえます。



初代の庁舎建物の記録が残されていないので残念ですが、二代目は昭和22年、25年にかけて建築された木

造二階建ての庁舎です。写真は昭和36年頃と思われるですが、まわりの倉庫とマッチした何とも言えない雰囲気があります。

次が三代目の現庁舎ですが、昭和40年に新築された鉄筋コンクリート三階建ての、当時としてはモダンな建物です。周辺の風景も昭和30年代の写真とはずいぶん変わっていますが、建物自体の老朽化が進み使用に耐えなくなりました。また、近い将来発生が予想される東海地震に対しては、現庁舎では耐えられないとの調査結果がでてくることもあり建て替えを行うものです。

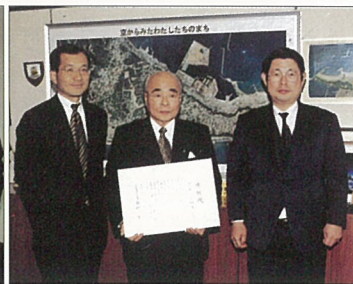
今回新築される庁舎は、地震に強く、利便性もとより周辺景観や色彩等に配慮したものを予定していますが、どんな建物となるか楽しみです。

永年に亘り御前崎港の整備促進・振興発展に寄与され、このたび町長を勇退される御前崎町長の下村源一氏及び相良町長の楠田庄一氏に対して、五建中村局長から感謝状が贈られました。

下村氏（73才）は、御前崎町総務課長・助役を経て、平成3年4月町長に就任、また、楠田氏（74才）は、相良町議会議員・助役を経て、下村氏と同じく平成3年4月に町長に就任されました。



相良町長



御前崎町長

御前崎港だより
御前崎町長・相良町長に
感謝状授与

お二方とも2期8年間町長として地元発展にご尽力されとともに、御前崎港振興会等の公職を歴任され、地元の住民意識の高揚を図りつつ、御前崎港整備事業の円滑な推進と振興発展・利用促進に努められてきました。特に平成6年8月の港湾計画改訂や女岩地区の大水深14m岸壁を初めとする多目的埠頭の整備等、御前崎港の近代化に大きく貢献されました。

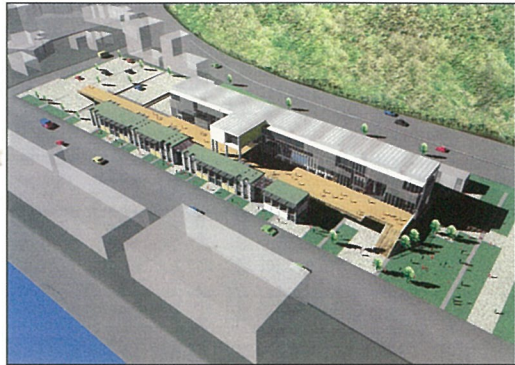
感謝状は、3月24日に中村局長が直接各町役場を訪れ、授与されました。

下田港だより

開国のまちづくり事業 (リーディングプロジェクト) 始動

去る3月26日から下田市の外ヶ岡地区において、「地域の個性を生かしたまちづくり」交流拠点施設の整備が始まりました。下田市は観光中心のまちであるため、長引く不況のあおりを大きく受けていることから、この状況を乗り切れるため、豊かな自然環境(特に海、港)、固有の歴史、伝統、産物など、特有の個性をより多くの来訪者に紹介する為に市が計画したものです。

この事業は、自治体のリーディングプロジェクトの指定を受け開国のまちづくり事業及び静岡県の新世紀飛躍のまちづくり事業の国・県両方の制度を活用



した事業であり、平成12年9月の完成を目指しています。施設としては、下田の歴史をメインにした展示室、学習室、研究室、収蔵庫などの4階建てハイパーミュージアム、地場産品のPR展示・販売や飲食のできる2階建て交流館、さらにはこの2つの建物をつなぎ、屋外イベントの会場としても利用できる幅12m、延長約130mのデッキから成っています。また、約300台収容可能な駐車場も整備されます。

この施設が完成すれば、港と共に発展してきた下田の歴史について知ってもらう展示コーナーはもとより、私どもが整備を進めている外防波堤建設事業の啓蒙の場としての利用も期待されます。変わりつつある下田の町を、皆さんも是非一度見学されたいかががでしょうか。

清水港への入港 客船・帆船案内

<p>ばいふいっくびいす(客船)</p> <p>4月3日(入港、出港)</p> <p>第14回洋上テレビヒストリー</p>	<p>ばいふいっくびいす(客船)</p> <p>4月22日・23日(入港、出港)</p> <p>静岡県</p> <p>シアターオリンピック</p>	<p>おりえんとびいす(客船)</p> <p>4月29日・5月6日</p> <p>小笠原クルーズ</p>	<p>威臨丸(客船)</p> <p>5月8日・9日</p> <p>チャータークルーズ</p>	<p>みらい(調査船)</p> <p>8月4日</p> <p>清水港開港100周年</p> <p>一般公開</p>	<p>清龍丸(浸染業油回収船)</p> <p>8月4日</p> <p>清水港開港100周年</p> <p>一般公開</p>	<p>飛鳥(客船)</p> <p>8月17日(入港、出港)</p> <p>清水港開港100周年</p> <p>県民クルーズ</p>
---------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------	------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------

人事異動

平成11年4月1日付

(氏名)	(発令事項)	(現職)
藤田郁夫	広島県	所長
小谷拓	所長	関西国際空港(株)
前田健三	五建本局	庶務課長
岩本正雄	庶務課長	三河港湾
白井裕	三河港湾	五建本局
寺田雅江	三河港湾	庶務課係長
松永勝幸	三河港湾	庶務課係長
小林大士	三河港湾	庶務課係長
原田恒男	五建本局	補償調整官

管内の動き

- 12月
 - 3 御前崎港視察(牧の原部農会)
 - 8 10 災害復旧現地査定(御前崎港、清水港)
 - 8 下田港防波堤D区本体工事安全祈願祭
 - 10 下田港双胴型ケーソン3箇目据付
 - 10 「みなと(みず)広報紙No.44発行
 - 10 管内技術報告会
 - 16 河村瑞賢300年記念事業調査
 - 16 情報化推進会議
 - 18 御前崎港事務所開設20周年記念誌作成
- 1月
 - 4 新年名刺交換会
 - 5 清水・静岡商工会議所合同新年賀詞交歓会
 - 10 清水市消防出初め式
 - 11 御前崎町消防出初め式
 - 12 清水市フォーラム
 - 救急法講習会

2月

3月

- 1 管内健康安全委員会
- 2 4 通常検査
- 4 静岡県地方港湾審議会
- 5 技術開発会議幹事会
- 8 9 ウォーターフロント開発相談会
- 10 航路標識整備に関する連絡会
- 22 26 技術職員研修
- 23 26 清水港湾協議会講演会
- 24 庶務課長会議
- 24 全国港湾建設局施工技術交流会
- マリンパーク御前崎管理運営委員会
- 下田港湾対策協議会
- 土木行政研究会
- 1 建設協会技術委員会
- 2 予算配賦実態調査
- 3 設計会議
- 5 補償埋立事務検討会
- 5 清水港みなと色彩計画推進協議会
- 9 5 工務工事課長会議
- 15 9 技術職員(課長)研修
- 16 技術職員(保長)研修
- 16 静岡空港国際化懇話会
- 17 伊東港整備検討懇話会
- 18 静岡県主計官・品質管理監査会議
- 23 26 御前崎港壁面大作戦
- 24 感謝状贈呈式
- 清水市防災会議
- 清水市防炎会議
- 所内会議
- 25 事務課長会議
- 30 調査会議
- 31 所長・次長会議
- 資金前渡官史検査

発行所

清水港湾工務事務所

〒424-0222 静岡県清水市日の出町七二二

TEL (05433) 5211-4146(代)